

12月8日(金) 3・4限

1年次 体験型防災訓練

災害は、何時やってくるか分からない。日頃からの心構えが大切。でも理屈では分かっていても、いざという時に適切に行動し、生命を守ることができるだろうか。今日は、実際に体を動かし、個人で、またグループで実際に活動することで、知識と技術を学ぶ取り組みをしました。体験内容は、以下の通りです。

①新聞スリッパ。新聞を折り紙よろしく、織り込むことで補強のきいた簡易スリッパが完成しました。

②徒手搬送。担架がなくて、どうして怪我人を搬送するか、人体の仕組みも考えて、合理的な搬送を二人組になって体験しました。また、予め配布したレジ袋など、ありあわせのものを活用して、止血処置や三角巾の代替を工夫しました。

③段ボールベットと段ボールパテーションの組立と解体。1つ1つのパーツは、なるほど華奢な段ボールですが、組み合わせたり、相互に補強させることにより、強度を増すことができる不思議を体感しました。生徒3人が腰かけてもビクともしませんでした。

④ロープワーク。2mのロープを使い、様々なロープワークを体験しました。

⑤断水時を想定したゴミ袋を使った、トイレの使用方法を学びました。災害時は、日頃当たり前前に思っていることが、当たり前でなくなります。その喪失感に呆然となるのではなく、率先して生命を守る行動が採れる人になりたいと思います。生徒たちは、今日の経験をどうか、生きた知恵にしてほしいと思います。

最後に、ご指導して下さった、太子町、たつの市の防災士の皆様、また、ご多用にもかかわらず、訓練に参加いただきました糸井池自治会の皆様に感謝いたします。



